

平成29年度 東濃地区教育推進協議会 学校図書館教育賞実地審査が行われました

11月20日に、学校図書館教育賞の実地審査が行われました。本年度多治見市からは、滝呂小学校と北栄小学校が参加しました。

<滝呂小学校>

図書館の指導目標を「読書の楽しさを知り、進んで読んだり、調べたりする子」とし、継続的に取り組んでいます。

本年度は、豊かな読書習慣の確立や、学習・情報センターとしての機能の充実をはかっています。読書好きな子が育っていることや、パソコン教室と連動した調べ学習をしていることなどを評価していただきました。



図書館とパソコン室が
つながる場所



図書を活用した
学習の足跡



地域（多治見）を身近に感
じるコーナー



手に取りやすい場所に
新聞を配置

<北栄小学校>

「本でつながる（仲間・学び・保護者・地域・先生・本）」を図書館教育の目標とし、継続的に読書好きな子を育てています。児童アンケートの結果や読書冊数の推移からも成果がみられます。

学校全体で取り組まれていることや、地域・保護者との積極的なつながり等により、効果的な図書館経営がなされていることを評価していただきました。



本の紹介や配架も工夫



遠くの学校ともつながる
読書郵便



保護者や地域の方が本の
修繕をしてくれます



学びとつながる児童作品